

内容項目名	思いやり，感謝（内容項目B－（6））		
資料名	「アリとキリギリス」（出典「イソップ寓話」一部改編）		
学校名	東金市立北中学校	指導者名	伊藤 浩

1 学習指導案

中学校 1 年 1 組 道徳学習指導案

平成 2 9 年 1 1 月 1 5 日（水）5 校時

（1）主題名

相手の立場に立って考える

（2）ねらい

相手の立場に立って親切にしたり，思いやりをもって接したりすることの大切さを理解し，その行動をとろうとしたり，それに近づける努力をしようとする態度を養う。

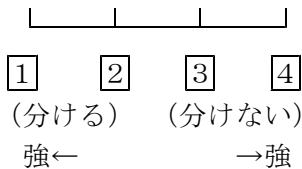
（3）主題設定の理由

内容項目「B（6）思いやり，感謝」は，「思いやりの心をもって人と接するとともに，家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し，進んでそれに応え，人間愛の精神を深める」と規定されている。そして，「思いやりの心底には，人間尊重の精神に基づく人間に対する深い理解と共感がなければならない。このように考えれば，思いやりの心は，単なるあわれみと混同されるべきものではない」と述べている。（中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編）。ただ単に「優しい言葉」をかければそれが「優しさ」というようなその時々と言動のみで量るような浅い捉えではなく，生徒には「相手の立場に立って」考えさせていきたい。中学生の時期は，他の人との関わりをもつ機会が増え，またその大切さを理解できるようになっていく。しかし，時として自己中心的な判断に陥り，他を顧みない言動に走ってしまうことも依然としてある。社会の中で生きていくには，他人との関わりは必要不可欠な要素であり，避けては通れないことである。そこで，相手の立場に立って物事を考え，行動することのできる「思いやり」の心をもって人と接していくことの大切さを，資料の中に登場するアリの立場と心情，キリギリスの立場と心情のそれぞれを踏まえた上で考えさせていきたい。

（4）展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (5)	1 資料「アリとキリギリス」を読んで内容を確認する。 ・プリントを見ながら，範読を聞く。		・教師が読み聞かせる。 ・内容を知っている生徒にも改めて内容を確認するように指示する。
展開 (3 8)	2 アリの立場に立って考え，自分の考えに近いところに白側のネームプレートを貼る。	【分けてあげる】 ・かわいそうだから。 ・自分だったらもらえると嬉しいから。 ・1 回だけならあげてもいい。 ・どんな人でも困っている	・自分の考えが，1「喜んであげる」，2「いやいやあげる」，3「分けてあげたいけど断る」，4「絶対に断る」の4段階のどの心理レベルに当てはまるかを考え，ワ

もしあなたがアリだったら
キリギリスに食べ物を分けて
あげますか。



3 アリとキリギリスとの対話を
考え、役割演技をする。

- アリがキリギリスとどんな会話を
するのか考え、役割演技を
してみよう。
- ・数ペアが、前に出て発表する。

◎役割演技をして感じたこと、
演技を見ていて感じたことを
発表しよう。



4 食べ物を「分けてあげる」
こと・「分けてあげない」こ
との意味を考える。

- 「分けてあげた場合」, 「分け
てあげなかった場合」, どん
なことが起こるだろうか。

○意見が変わった者はネームプ
レートに黄色側に変えて貼り
直そう。

人を助けるのは当たり前
だから。

【分けてあげない】

- ・自業自得だから。
- ・注意を聞かなかったキリ
ギリスが悪いのだから、
もらえなくて当然だ。

【分けてあげる】

- ・「困っているときはお互
い様だからあげるね。」
- ・「これから遊んでばかり
いないと約束するならあ
げてもいいよ。」
- ・「全部は無理だけど、少
しだけなら分けてあげる
よ。」
- ・「1回だけなら分けてあ
げるよ。」

【分けてあげない】

- ・「(あげたいけど) ここ
で優しくしたらまた怠け
ちゃうからあげないよ。」
- ・「遊んでばかりいたから
自業自得だよ。」
- ・「困ったら人に頼ろうと
する考えではダメだよ。」

【分けてあげた場合】

- ・一時的にはしのげる。
- ・あげる量によっては、ま
たもらいに来るかもしれ
ない。

【分けてあげなかった場合】

- ・冬を越せない。
- ・命にも関わる。

・役割演技や友だちの意見
を聞いた上で、改めて自
分の立場を考え、意見の

ワークシートのAの欄に
記入させる。


- ・ワークシートのレベル
と同じ部分に白側のネ
ームプレートを貼るよ
うに指示する。
- ・自分の立場とその理由
ををを発表させること
で個々の立場を確認する。

・最初にT1, T2で演
技をし、生徒たちにど
んな会話をするのかイ
メージさせる。

- ・アリとキリギリスのや
りとりをよりわかりや
すくするために食べ物
の小道具を用意する。
- ・指名により、意見の異
なる者でペアを組ませ、
全体の前で発表させる。
- ・単発のやり取りになら
ないように演技を工夫
させる。
- ・発表したペアに役割を
演じてみてどのように
感じたかを、また見て
いた側にもどう感じた
かを発表させる。

・分けた場合と分けなか
った場合にそれぞれど
のようなことが起こる
のかを考えさせ、それ
が他のどのような価値
項目に結びつくのかを
確認する。

・友だちの意見を聞いて、
改めて自分の意見をワ
ークシートのBの欄に

		<p>変わった生徒はネームプレートを貼り直す。</p> 	<p>記入させる。意見が変わった場合は、ネームプレートの色を変えて再度貼り直させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見が変わった生徒に理由を発表させ、個人の考えのまとめに生かせるようにする。
<p>終末 (7)</p>	<p>5 授業で感じたこと、学んだことを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートへ記入する。 ○自分の意見を発表しよう。 自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをワークシートに整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の授業を振り返って思ったこと、感じたことをワークシートにまとめさせ、数名に発表させる。

(5) 他の教育活動との関連

- ・ 体育祭や合唱祭などの学校行事で、他の生徒との活動を通して、相手を思いやる気持ちや感謝の気持ちを育てていく。
- ・ 日常の班活動や当番活動、委員会活動などの振り返りを通して、相手を思いやった行動をとることができたかを考えさせる。

2 事後検討会

(1) 授業記録(場面3より抜粋)

- T これからアリさんとキリギリスさんの立場に立ったら、どう言うだろう。それを役割演技をしてもらいます。
- T それでは「あげない」立場のS1君、と「いやいやだけど分けてあげる」立場のS2さんお願いします。これから演技をしてもらいますが、うまい下手ではなくて、アリの立場にたって彼がどのように話をするのか、そこに注目してください。
- S2 (ドアをノックする仕草) アリさん、わたしはもうおなかがすいて死にそうです。何か食べ物ください。
- S1 (ドアを開ける仕草) 何だ、キリギリスさんか。どうしたの。
- S2 食べ物がないんです。何でもいから一つください。
- S1 でもそれって、夏に歌ばかり歌っていて働かなかった自分が悪いんでしょ。
- S2 わたしが悪いんですけど、死にそうです。助けてください。
- S1 僕たちにも家族がいるんです。さよなら。(ドアを閉める仕草)
- T そんなにあっさり断っちゃうの？
- S1 うん。(何度もうなずく)
- T 何度も何度も頼んでいたよ。
- S1 それでもあげない。
- T そうか。それでは今度は役割をチェンジしてやってもらおう。
- S1 ああ、やばいなあ。(ノックする仕草) アリさん、おなかが減っちゃったんです。少し食べ物を分けてください。お願いします。
- S2 キリギリスさんじゃないですか。どうしたんですか。
- S1 夏に働かずに、歌を歌ってたので、冬の食料がなくなってしまったんです。死にそうです。

S 2 だから、私たちが働いてるときに言ったじゃないですか。

S 1 すいません。

S 2 でも、かわいそうなので一つあげます。

S 2 ありがとうございます。

T もっとあげないの？

S 2 これ以上はあげたくないです。

T (S 1に向かって) 簡単に引き下がっちゃっていいの？ひと冬これで過ごすんだよ？

S 1 (首をかしげる)

T ありがとう。では二人に演じた感想を言ってもらいます。ではS 2さん。先にアリを演じて、そのとき、全然食べ物がもらえなかったよね。どうだったかな。

S 2 アリさんは夏に忠告してくれたのに、働かなかったから、くれなかった。しょうがないのかなあと思った。

T しょうがないと思ったの？

S 2 あげないと言われたら、諦めるしかないのかなって。

T そうか。逆にアリさんになったとき、少し食べ物をあげたよね。

S 2 そのときは、死にそうと言われ、おなかもすいていそうなので、かわいそうに思った。でも、アリにも家族がいるので一つにしました。

T そうか。家族がいるから、「すこしあげる」を選んだんだよね。では君(S 1)は「あげない」を選んだけど実際にやってみてどうだった？

S 1 最初は「あげない」を選んだけど、アリさんをやってみて、少しあげた方がいいかなという気持ちが出てきた。

T そうか。じゃあ、キリギリスをやってみてどうだったかな？

S 1 夏に働かなかったのに、アリさんが食べ物をくれたときは優しいなと思った。

T 優しいと思ったんだ。食べ物をもらってどうだった？

S 1 うれしかった。

T ではS 3君、君はいまの二人の演技を見てどう思ったかな？

S 3 私は「いやいやながらあげる」という立場ですが、キリギリスは自分が遊んでばかりいたけど、食べ物がもらえてよかった。

S 4 キリギリスは困っていて、アリさんがあげなかったときは、ひどいと思いました。逆にアリさんがあげたときはよかったと思いました。



(2) 授業の感想

(生徒の感想)

- ・今日の授業を通して、「分けてあげる」と「分けてあげない」ということについてとても考えさせられました。どちらの立場の考えも理解できましたが、僕がアリなら食べ物を分けてあげます。分けてあげることのほうがキリギリスのためになると思ったからです。
- ・アリが注意したのにそれを聞き入れなかったキリギリスの態度はよくなかったと思います。でも、私は「イヤだけど分けてあげる」という立場をとりました。食べ物を分けてあげることでキリギリスを助けることができるし、そのことでキリギリスが心を入れかえて来年は働くようになってほしいと思ったからです。
- ・私は「イヤだけど分けてあげる」という立場でした。実際に役割演技をしてみたら、食べ物を分けてあげないと言われたとき、悲しい気持ちになりました。でも、キリギリスは働かなかったのでそう言われても仕方ないと思いました。でも、もし助けてほしいという声があったら、私はきっと助けると思います。

- ・最初は、ギリギリが困っているなら喜んで助けてあげようと思いましたが、役割演技を見たり、他の人の意見を聞いたりして、アリにも家族がいるし、アリも食べ物がなければ生きていけないと思い、「イヤだけど食べ物を分けてあげる」という立場に変えました。
- ・最初は、「絶対に分けてあげない」という立場でしたが、自分が実際に役割演技をしてギリギリの気持ちを考えてみたら、かわいそうだし、命にも関わってくるなと思いました。しかし、ギリギリに食べ物を分けてあげたら、自分や家族が死んでしまうかもしれないから、「分けてあげたいけど断る」という立場に変えました。
- ・最初は「絶対にあげない」という立場だったけど、実際に役割演技を試みたら、食べ物を分けてくれると言われたときにとてもうれしかったので、途中で「イヤだけど分けてあげる」という立場に変えました。

(参観者の感想)

- ・一人一人の話し合いの中に笑顔があり、とても生き生きと道徳の時間を迎えていました。先生方の授業づくりの熱心さが伝わる思いでした。
- ・「アリとギリギリ」は誰もが知っている物語ですが、小さい頃読んでもらって感じたことと思春期の入り口の今、感じることで、大人になって感じることで違ってくると思います。
- ・「アリとギリギリ」は、私も学校で授業をやりました。食べ物を「分ける」「分けない」というのを4段階に分けて授業をしたこと、また、役割演技の際、アリとギリギリの両方を生徒にやらせていたことがすばらしいと感じました。生徒の心にも残り、また、深く考えさせられる授業だったと思います。

3 本事例の活用に関する留意点

(1) 学習形態の工夫

コの字型の机の配置にしたことで、互いの表情を見ながら授業を進めることができる。また、一班を4人としたことで、グループでの話し合い活動でも意見を出しやすくなった。

(2) ネームプレートの活用

両面に名前を書いたネームプレートを使い、黒板上に貼ることで自分の意思表示をさせるとともに全体でも共有することができる。また、役割演技や友だちの意見を見たり聞いたりして、考えの変更があった場合の意思表示をすることができ、心の変容が目で見分かりやすくなる。その際には必ず理由を述べさせた。

(3) ワークシートの工夫

役割演技や話し合いの場面を多く設定するために書かせたいところを絞って作成した。スケールレベルを用いて、最初の自分の考えと役割演技や話し合い後の自分の考えを記入することができるワークシートを用意し、生徒の考えやその変容を教師が把握しやすいようにした。

(4) 役割演技

役割演技は、演じている本人が気付いたこと、見ていた人が気付いたことを演技後の話し合いの中で互いに伝え合うことにより、思考を深めていく手法である。この資料では、意見の異なる生徒同士をペアにして、アリとギリギリそれぞれの役割を演じさせた。自分の考えとは違う役を演じさせることで、新たな考えをもつ生徒も出てきた。

(5) 指導上の留意点

今回の授業は、「B- (6) 思いやり、感謝」という内容項目で行ったが、この資料はいろいろな項目に当てはまるものだと思う。授業を行う際には、どこにポイントを置いて授業を行うのか、授業者がよく考えておかないと、焦点のはっきりしない授業になってしまう。内容項目と授業の視点をはっきりさせておく必要がある。